

コロナ禍以降の環境に合わせた多様な働き方や意識変革に向けて 「ステークホルダー・ダイアログ」を開催 サステナブルな次期中長期経営計画策定に着手、社外有識者と経営陣で議論

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)は、この度「コロナ禍以降の事業環境変化に合わせ、様々な視点から機会・潮流・リスクを予測し、企業活動全体につなげる」をテーマに、「ステークホルダー・ダイアログ」を開催しました。

現在、当社グループでは2021年からスタートする次期中長期経営計画を策定中です。ステークホルダー・ダイアログでの建設的なディスカッションを通じて得た示唆や、コロナ禍での事業活動がどうあるべきかといった考えや気づきを活かし、次期中長期経営計画へ具現化していく予定です。

なお次期中長期経営計画の発表は、2020年12月期決算公表タイミング(2021年2月)を予定しています。

当社のステークホルダー・ダイアログとは

ポーラ・オルビスグループでは、当社の企業活動が社会の期待や要請と一致しているかを検証するため、経営陣による社外有識者の皆さまとの対話を、2011年から毎年実施しています。ステークホルダーとの対話を通じ、新たな視点や幅広い情報を取り込む事で、当社グループのあるべき姿や事業戦略を長期視点で考える機会作りとしています。

※参考:コーポレートレポート2019 P.53 <https://ir.po-holdings.co.jp/ja/Library/AnnualReport/main/0/teaserItems/09/linkList/0/link/CorporateReport2019.pdf>



ステークホルダー・ダイアログの様子 (感染対策を行った上、オンライン・対面のハイブリッド形式で開催)

ステークホルダー・ダイアログにて議論した主な事項 (次期中長期経営計画にて検討)

- ・企業理念である“感受性のスイッチを全開にする”「組織・チームの心理的安全性」の追求
自由な発想や、イノベーションな研究体制、変革意識を阻害しない心理的安全性の高い経営・マネジメントへ変化
- ・「多様な働き方」の実現に向けた新たな人事制度設計、スキルアップ・雇用競争力の向上
グループ内での副業やダブルワーク制度の設計、人事評価制度の見直し、コンピテンシー能力の再定義
- ・組織の時代から、「個人・個性が輝く」の時代へ
役職や肩書に捉われず個人が活躍でき、約3,800名の全従業員の個性が発揮されるボトムアップ文化へ進化
- ・「ビジネスモデル・チャネル戦略」の見直し
事業のメインであるオフラインチャネルの在り方の見直し(ブランド体験ができるリアル店舗の充実やDX戦略の構築など)
- ・「スピーディに新事業をトライ&エラー」することと、撤退基準・再チャレンジの明確化
化粧品の新価値創造に挑戦できる環境作りと同時に撤退基準を明確にし、スピード感ある成果を創出

【報道関係者の皆様からのお問合せ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話がつかない場合はメールにてお問い合わせください。

【補足資料】今回ご協力いただいたステークホルダーの皆様

STYLUS



秋元 陸

スタイラス ジャパン株式会社 Country Manager

スタイラスは2009年に英国で設立され現在は世界中のイノベーションを調査・研究し、企業の新規事業開発のアドバイス・コンサルタントを中心に行っている企業。今回は、ニューノーマル(新しい生活様式)を実践する消費者の動向や今後の潮流を、5つの切り口(安全の保証/デジタルと日々の暮らし/人とのつながり/体の手入れ・治癒/日常の在り方/日々の娯楽)にて見解を提供。美容&パーソナルケア業界・小売業界をはじめ、業界別の現状と今後の商機について示唆いただきました。

【秋元様からのコメント】

我々が日々収集している世界中の生活者の変化と、そこから導き出されるインサイトを基に今後の需要や検討事項を議論する事ができました。インサイトはどこまでいってもインサイトでしかなく、そのインサイトを解釈し戦略・戦術に活用頂く事で、初めて価値を発揮する事ができると思います。今回の機会はまさにそのような場であった為、視座などを含めて我々も多くの学びを得る事ができました。ありがとうございます。

ZENTech



石井 遼介

株式会社 ZENTech 取締役

一般社団法人 日本認知科学研究所 理事

慶應義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究科 研究員

ZENTechは心理的安全性のリーディング・カンパニーとして、組織診断サーベイ・研修トレーニングを提供し、世界中のリーダーとチームの持続的成長を支援・貢献している企業。

今回は、コロナに関わらず、VUCAで変化が激しく正解のないこの時代において、高い成果を創出する個・チーム・組織になるためのマネジメント方法について、心理的安全性・心理的柔軟性をメインに示唆いただきました。

【石井様からのコメント】

ステークホルダー・ダイアログにお招きくださり、ありがとうございました。ポーラ・オルビスグループの、経営陣のおひとりおひとりが、それぞれの課題・悩みを率直にテーブルの上に乗せて頂くことで、実りある対話となったように感じております。

また、ダイアログを元に、元来より重視されている感受性を開き、おひとりおひとりの美意識をさらに向上させるべく、心理的安全性に関する取組みや検討を進めることについて、ステークホルダー・ダイアログご出席の経営陣の皆様の強いコミットメントを感じます。このような企業姿勢が、組織の内から所属する人々が輝きはじめ、社会を照らすのだと感じております。